



令和7年度 9月号

「絵本から飛び出した給食」



～あらすじ～

うさぎが「虹をつくったのはだあれ?」とてんとう虫やきつね、バッタなどに聞いて回ります。そこで、動物・昆虫が自分の色やその他の色を持ったものを紹介していき、最後には、7色すべてが揃って仕掛けの虹(赤・オレンジ・黄色・緑・青・紺・紫)の部分 completes 完成するお話です。

今月の誕生会の給食は、年に一度の『太陽の子ランチ』です。太陽の子ランチとは、旭ヶ岡保育園の保育目標である“太陽のように 強く明るくたくましく 虹のように 美しく 優しく”をテーマに考えているメニューです。太陽は、チキンライスで作りまし。虹は、3色のゼリーで作り、ホイップや白色ゼリーでは、雲を表現し空をイメージして作っています。

3歳未満児で色に興味を持つ子どもたちは、絵本を見ながら虹の色を答えており楽しい絵本の時間となりました。また、年少児では、3層になっているゼリーを見てそのボリュームに圧倒されている子どもたちでした。他のクラスでは、1層ずつ味わいながら友達同士で味当てをし、担任に確認する子や大胆に食べる子もいました。虹色ゼリーには、雲はカルピスゼリーで、虹は3つの味(青りんご味・マンゴー味・ぶどう味)で作っていますが、黄色のマンゴー味が子どもたちには難しかったようでしたが、みんな美味しそうに食べていました。



～年長児自然ふれあい体験での挑戦～

9月4日(木)に自然ふれあい体験がありました。1日中自然にふれあった後昼食には、“流しそうめん”を行い、おやつは“フルーツポンチ”でした。そうめん流しでは、初めて体験する子もいて楽しそうでした。また、フルーツポンチでは、バナナのカットに挑戦しました。カットするときは、手の平にバナナを乗せて包丁ではなくナイフでカットしました。子どもたちにとって手の平の上で切ることが難しかったようですが、コツを掴むと上手にカットできる子もいました。野外で食べる食事は、特別の味だったみたいです。



～鹿島高等学校からの食育活動～

9月16日(火)には、鹿島高等学校の2年生の8名が来られ、年中児と年長児を対象に食育活動が行われました。年中児では、食材カードの宝探しと〇×クイズがありました。宝探しではあっという間にカードを探し終わりましたが、〇×クイズでは大盛り上がりで、間違えてもめげずに次の問題に挑戦する子が多く楽しく参加できました。



年長児では、食材のかかるたゲームと釣りが行われました。どちらも、1つ食材を取れたらお休して待つというルールで、初めに取れた子は、他の子に教えてあげたりして優しい姿があり、子どもたちは、とっても楽しそうでした。